

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 実用新案出願公開  
 ⑪ 公開実用新案公報 (U) 昭57-12887

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
 F 16 L 19/02  
 19/08

識別記号 延内整理番号  
 7244-3H  
 7244-3H

⑬ 公開 昭和57年(1982)1月22日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 管維手装置

⑮ 実 願 昭55-90033  
 ⑯ 出 願 昭55(1980)6月28日  
 ⑰ 考 案 者 後藤周三  
 東京都江東区森下一丁目14番2

号  
 ⑮ 出願人 富士精工株式会社  
 東京都品川区東大井一丁目5番  
 3号  
 ⑯ 代 理 人 弁理士 菊川貞夫

⑯ 実用新案登録請求の範囲

接続すべき主管に袋ナットと、この袋ナットの内部に収められる大きさの環状弾性体を取り付けて、上記主管の先端を接続管内に差込み、且つ袋ナットを接続管の先端周面に形成した雄ネジ部に螺嵌してこれを締付けることにより、上記袋ナットの内側面と接続管の先端面との間で環状弾性体を圧縮変形して主管の周面に密着せしめ、以つて主管と接続管を気密状態に接続できる様に構成した管維手に於いて、上記環状弾性体の内部に、上端に被圧部を備え、下端に尖端部を設けた少なくとも2本以上のストップバーを、各尖端部が夫々前記主管の周面に向く様に略放射状に埋込み、且つ、上記

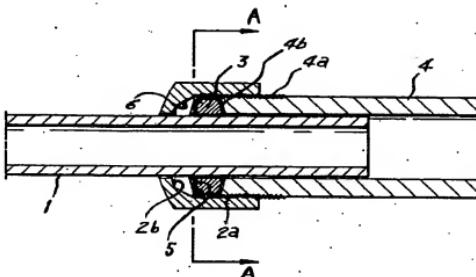
袋ナットの内側面には、袋ナットを締付けた時に上記の被圧部を押圧してストップバーの尖端部を主管の周面に刺挿することができる傾斜面を設けたことを特徴とする管維手装置。

図面の簡単な説明

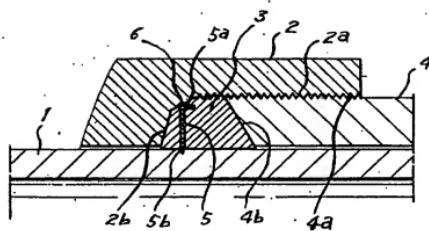
図面は本考案の実施例を示し、第1図は装置全体の断面図、第2図は接続完了時における要部の拡大断面図、第3図は第1図A-A線の断面図、第4図はストップバーの斜視図である。

1 ……主管、2 ……袋ナット、2 b ……内側面、  
 3 ……環状弾性体、4 ……接続管、4 a ……雄ネジ部、4 b ……先端面、5 ……ストップバー、5 a ……被圧部、5 b ……尖端部、6 ……傾斜面。

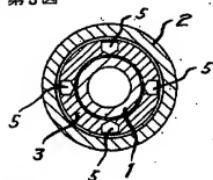
第1図



第2図



第3図



第4図

